

第 1 回 特別史跡熊本城跡保存活用委員会 会議録（要旨）

1. 日 時：平成 21 年 8 月 31 日（月）14：00～15：30

2. 場 所：マスマチュアル生命ビル 7 階 D 会議室

3. 出席委員：（敬称略）15 名

小堀富夫（委員長）、伊東龍一、今村克彦、岩下直昭、岩永邦子
亀井創太郎、北野隆、北村直登、佐々木信文、田中哲雄、高瀬哲郎
富田紘一、服部英雄、山尾敏孝、吉丸良治
欠席委員：松本寿三郎

4. 配布資料

- ・ 資料 1（特別史跡熊本城跡保存活用委員会運営要綱）
- ・ 資料 2（特別史跡熊本城跡保存活用委員会の設置について）
- ・ 資料 3（会議の進め方、スケジュールについて）
- ・ 資料 4（熊本城復元整備計画）
- ・ 資料 5（熊本城の管理に関する取扱要領）
- ・ 資料 6（国指定特別史跡熊本城跡保存管理計画について）

5. 次第

（1）開会

（2）委嘱状交付

（3）市長挨拶

（4）委員会の設置について

委員会趣旨及び要綱説明【資料 1】

委員長選任

専門部会委員及び部会長選任

（5）説明事項

委員会の進め方について【資料 2、3】

熊本城復元整備計画について【資料 4】

熊本城の保存及び利活用について

）熊本城の管理に関する取扱要領【資料 5】

）昭和 57 年度策定「保存管理計画」【資料 6】

（6）次回審議内容について

議事録（要旨）

1. 開会
2. 委嘱状交付（代表：伊東委員）
3. 市長挨拶
4. 委員会の設置について

委員会趣旨及び要綱説明 【資料1】

委員長選任

小堀委員選任

- ・ 委員長挨拶

『平成9年にこれだけ立派な熊本城復元整備計画が策定され、また、平成15年頃には熊本城利活用委員会も開催され、ある程度概略的な内容は決まっていますが、本丸御殿や桜の馬場などの問題もあり、この際見直しを含め検討いただきたいとのことですので、この委員会で皆さんのお知恵を拝借したい。

ただ、行政が主催されるこれまでの委員会は、結論ありきで委員会が開催されることが多く、私も苦い思いをした経験がございます。

今日は、市長もこの場にいらっしゃいますので、この委員会が、そのようなことが是非ないようお願いするとともに、今後、皆さんの意見を集約していけるようにしていきたいと考えていますので、活発なご議論をお願いします。』

- ・ 委員長の職務代理者選任 吉丸委員選任

専門部会委員及び部会長選任

- ・ 史跡部会委員及び部会長

田中委員（部会長）、今村委員、高瀬委員、服部委員、山尾委員（5名）

- ・ 建築部会委員及び部会長

服部委員（部会長）、伊東委員、今村委員、北野委員（4名）

5. 説明事項

- (1) 委員会の進め方について 【資料2、3】

委員会の設置、審議内容、今後のスケジュールについて

- (2) 熊本城復元整備計画について 【資料4】

- (3) 熊本城の保存及び利活用について

熊本城の管理に関する取扱要領 【資料5】

昭和57年度策定「保存管理計画」 【資料6】

説明事項を終えての質問、意見及び回答

質問・意見	回答
<p>【北野委員（文化財保護）】</p> <p>この委員会では、何を審議するのか？（第2期復元整備について？それとも熊本城全般について？）</p> <p>熊本城復元整備計画は、誰が決めて、どこが作成したのか？</p> <p>現在、市で進めている桜の馬場整備については、この整備計画の中できちんと位置づけられているのか？ 行幸坂の右側と左側での一体感がなくなる。（右側：馬具櫓・西櫓御門 復元、左側：桜の馬場 整備）</p> <p>桜の馬場地区の特別史跡としての追加指定の市側の考え方はどうなっているのか？</p> <p><回答に対する意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別史跡内とみなして整備すれば良いが、本来であれば、桜の馬場が更地になった時点で、追加指定すべきである。【北野委員】 ・ 整備後の追加指定という考え方はおかしい。追加指定のスケジュールを早急に決めるべき。【田中委員（文化財保護）】 <p>【高瀬委員（文化財保護）】</p> <p>史跡部会において基本となる石垣の全体的な現況調査はしてあるのか？</p>	<p>平成9年度策定「熊本城復元整備計画」に基づく今後の復元整備のあり方・進め方や熊本城域全般について検討いただきたい。</p> <p>【事務局・落合所長】</p> <p>これまでの答申などを平成9年度に市企画課、市教育委員会が中心となり取りまとめた。これまでは、この整備計画を基に文化庁や市議会の承認を得ながら復元整備が進められてきた経緯がある。【今村委員】</p> <p>「熊本城復元整備計画」 ページにあるように、これまでの答申や提言をまとめたものであり、市が独自に定めたものではない。【谷口局長】</p> <p>整備計画の48ページ、「城域のエントランス、サービスゾーンとしての機能の充実」「地域交通のターミナルとして整備」との位置づけを基に計画を実行している。【谷口局長】</p> <p>合同庁舎移転後、一体的整備が完了した段階で追加指定する予定。【河田文化財課長】</p> <p>文化庁からも調査を求められているが、当面保存修理が必要な箇所を、今後10年間で保存修理を行う計画書は作成している。【文化財課：西川技術主幹】</p>

<p>【吉丸委員（地元地域）】 現行の復元整備計画を時代のニーズに沿うように修正していくこともあり得る、と考えてよいか？</p> <p>【岩永委員（公募）】 城域内にある国立病院が建て替えられた。あれだけの建物ができれば、手をつけられない。</p> <p>熊本城内のトイレをよく利用するが、トイレトーパーをビニル袋に入れ、針金で吊るしているところが何箇所もあり、大変見苦しく、イメージが悪い。どんなに復元整備しても、観光立県と言えない。そのようなところから配慮すべき。</p> <p>【田中委員（文化財保護）】 史跡部会、建築部会の専門部会がある中で、今後、史跡の保存活用ことや観光などのソフト面についてどこの部会でどのように検討していくのか？</p>	<p>修正しても良いとの認識で構わない。市としては委員会の決定事項に従う。【事務局】</p> <p>この件は市文化財保護委員会の中でも問題となった。熊本市域の救急病院網から考慮すると、この地区に救急病院の整備が必要ということであり、特別史跡区域外ということで、やむを得ず条件を付し現在の状況となった経緯がある。【小堀委員長】</p> <p>早急に確認し、対応する。【落合所長】</p> <p>第1回専門部会は、9月下旬か10月上旬に史跡部会・建築部会合同で開催したいと考えている。その専門部会の中で、史跡保存活用など委員の皆様より良い方法をご提案いただきながら今後進めさせていただきたい。【事務局】</p> <p>（委員会・専門部会の審議内容については、委員の意見を踏まえて審議手順・内容をまとめたい。史跡の保存活用やソフト面については委員会の審議事項となっている：事務局）</p>
--	---

今後の委員会に対する意見

【田中委員（文化財保護）】

- ・ 平成9年策定の整備計画は基本構想より前段階であり、保存管理など具体的計画が書かれていない。現状は復元整備が先行して進められている感じがする。特別史跡の追加指定やふさわしくない施設（藤崎台野球場など）の移転方針など具体案をまとめる必要がある。

(田中委員の意見つづき)

- ・ 管理取扱基準もあくまで現状に合わせたもので、将来を見据えて活用だけでなく保存管理も含めて明確にしていく必要がある。

【高瀬委員（文化財保護）】

- ・ 石垣保存についても保存管理計画できちんと位置づけが必要。きちんと現状を評価した上で進めていかなければいけない。基本をしっかり整理していかないと、馬具櫓をはじめとした第2期復元整備につながっていかない。

【亀井委員（地域活性化）】

- ・ 今日の説明内容はハード面中心であり、ソフト面は管理規定だけの説明となっている。整備計画にはP56に「ソフト事業の充実」もきちんとうたわれている。再来年には新幹線開業を迎えるが、熊本城を中心にどのような観光振興策を進めていくか？観光振興・地域活性化の立場として、この委員会の中で意見を言わせてもらいたいし、テーマとして掲げていただき議論させてもらいたい。

【吉丸委員（地元地域）】

- ・ 亀井委員同様、ソフト面の議論も取り入れていただきたい。観光振興・利活用という点で、お城だけでなく他との関連も含めて議論させていただきたい。

【佐々木委員（公募）】

- ・ 入園者の維持・増加をいかにしたら良いかということを考えて応募した。次回以降のテーマに掲げて欲しい。

【岩永委員（公募）】

- ・ 一口城主の募金場所は、城内や市役所だけでは行きづらい(少ないのでは)。民間の視点に立って百貨店入口に特設窓口を設ける等の工夫が必要ではないか。

6. 次回審議内容について
別紙参照

7. 閉会